

# 安全データシート

作成日：2010/07/13

改訂日：2017/01/16

## 1. 製品及び会社情報

製品名	Vysis Paraffin Pretreatment IV & Post-Hybridization Wash Buffer Kit (Vysis Protease Buffer IV)
製品コード	1N3105_30-806013
会社名	アボットジャパン株式会社
住所	東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
担当部門	カスタマーサポートセンター
電話番号	0120-031441
緊急連絡先	カスタマーサポートセンター 0120-031441
整理番号	CSC411-2

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

#### 物理化学的危険性

金属腐食性物質 区分 1

#### 健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分 1B

#### 環境に対する有害性

区分外

#### ラベル要素

##### 絵表示



##### 注意喚起語

危険

##### 危険有害性情報

金属腐食のおそれ  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

**注意書き**

ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。  
 他の容器に移し替えないこと。  
 取扱後は手をよく洗うこと。  
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水/シャワーで洗うこと。  
 直ちに医師に連絡すること。  
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。  
 内容物および容器は適切な方法で廃棄すること。

GHS 分類に該当しない  
 他の危険有害性

特になし

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別                      混合物

成分名（化学名又は一般名）	化学特性	CAS 番号	濃度 又は 濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
塩化水素	HCl	7647-01-0	0.36%	(1)-215
非公開	非公開	非公開	99.64%	非公開

### 4. 応急措置

**吸入した場合**

新鮮な空気又は酸素を与え、医師の診察/手当てを受けること。  
 呼吸困難などの症状は遅れて現れ、症状の過小診断につながる可能性があるため、少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を続けること。

**皮膚に付着した場合**

製品が付着した衣類を脱ぎ、付着した部位を流水で 15~20 分間洗うこと。医師の診察/手当てを受けること。  
 痛みなどの症状は遅れて現れ、症状の過小診断につながる可能性があるため、少なくとも暴露後 24 時間は医学的観察を続けること。

**眼に入った場合**

眼を開いた状態で、数分間、水で注意深くすすぐこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の診察/手当てを受けること。取扱い後は手を洗うこと。  
 痛みなどの症状は遅れて現れ、症状の過小診断につながる可能性があるため、少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を続けること。

**飲み込んだ場合**

水で口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに、医師に連絡すること。

**急性症状及び遅発性症状の  
 最も重要な徴候症状**

皮膚や眼の薬傷のおそれ

**医師に対する特別な注意事項**

データなし

## 5. 火災時の措置

<b>消火剤</b>	<p>粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤</p> <p>注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。</p> <p>規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。</p>
<b>使ってはならない消火剤 消火を行う者の保護</b>	<p>特になし</p> <p>規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣、呼吸保護具等を使用すること。</p>

## 6. 漏出時の措置

<b>人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置</b>	<p>項目 8.に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。可能であれば、漏出を止めること。</p> <p>保護具を着用していない者を近づけないこと。</p>
<b>環境に対する注意事項</b>	<p>液体及び蒸気を下水道、排水口、表層水または土壤に浸入させないこと。</p>
<b>封じ込め及び浄化の方法 及び機材</b>	<p>適切に換気を行うこと。</p> <p>少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。</p> <p>大量の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。</p> <p>漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。</p> <p>汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。</p>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

<b>取扱い</b>	
<b>技術的対策（局所排気・ 全体換気等）</b>	爆発および火災に対する特別な対策は必要ない。
<b>安全取扱い注意事項</b>	<p>皮膚への接触を避けること。</p> <p>眼への接触を避けること。</p>
<b>接触回避</b>	データなし
<b>保管</b>	
<b>安全な保管条件</b>	<p>保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。</p> <p>容器は密栓すること。</p> <p>熱と直射日光を避けること。</p>
<b>安全な容器包装材料</b>	オリジナルの容器及び包装でのみ保管すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 情報なし  
許容濃度

危険有害成分	日本産業衛生学会 (2015年版)	ACGIH (2010年版)
塩化水素	最大：2 ppm (3.0 mg/m <sup>3</sup> )	作業環境許容濃度(TLV)：天井値 2 ppm

### 保護具

#### 呼吸用保護具

通常の使用及び保管、または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。その他の異常事態 (例 大量の漏出)、または消火活動などを行う場合 - 化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。

#### 手の保護具

手に製品が接触するおそれがある場合には、保護手袋を着用すること。使用後の汚染した手袋は、適切な方法で廃棄すること。

#### 眼の保護具

安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

#### 皮膚及び身体の保護具

通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。  
大量の漏出(例 衣服にしみ込む量)の場合：防水性の保護衣を着用する。

### 特別な注意事項

製品を使用する場所をいつも清潔に保ち、一般的な注意事項に従うこと。製品又は検体を使用する場所で、飲食を行わないこと、食料及び飲料を保管しないこと。休憩開始時、製品や検体を取り扱った後又は作業終了時には手を洗うこと。  
皮膚への接触を避けること。眼への接触を避けること。  
汚染された衣類は直ちに脱ぐこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 製品として

外観	
形状	液体
色	透明
臭い	無臭
pH	1 (20°C)
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	100°C
引火点	引火性なし
自然発火温度 (発火点)	自然発火性なし
燃焼または爆発範囲の上限／下限	爆発の危険性なし
蒸気圧	情報なし
比重 (相対密度)	1 g/cm <sup>3</sup>
溶解性	水に対して：完全に混和性を持つ。
粘度	水に対して：99.6%

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	危険有害な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

## 1 1. 有害性情報

### 製品として

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び刺激性	重篤な皮膚および粘膜の薬傷 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性 または眼刺激性	重篤な薬傷。症状は遅れて現れる可能性がある。 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
呼吸器感受性または皮膚感受性	感受性なし
その他の情報	本品を摂取した場合、口およびのどに強い腐食性を呈し、食道および胃に穴が開く危険がある。

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

水に対する有害性はない。

排水口又は水生環境に、本品が大量に注がれた場合、pH 値の低下を招くおそれがある。

低い pH 値は水生生物に有害である。

## 1 3. 廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。

## 1 4. 輸送上の注意

### 国際規制

陸上 ADR (欧州危険物道路輸送協定)

Class 8 / 腐食性物質  
Packaging Group III

海上 IMDG (国際海上危険物規則)

Class 8 / 腐食性物質  
Packaging Group III

海洋汚染物質

該当しない

航空 IATA (国際航空運送協会危険物規則)

Class 8 / 腐食性物質  
Packaging Group III

国連分類 Class 8 / Corrosive substances(腐食性物質)

国連番号 UN1789

品名 HYDROCHLORIC ACID solution

容器等級 Packaging Group III

## 1 5. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物および有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)	塩化水素 (政令番号 : 98)
	名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)	

## 16. その他の情報

連絡先	お問い合わせの第一報は、カスタマーサポートセンター：0120-031441 まで。
その他	<p>Vysis 製品用の安全データシートについての注意事項： Vysis 製品については SDS【1.製品名及び会社情報】の製品名は、処理上の管理名となっている場合があります。正確な製品名及び製品に含まれる構成品名、並びにご参照いただく安全データシートについてはホームページ上に掲載される製品リスト中にてご照合、ご確認いただけますようお願いいたします。</p> <p>この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。</p> <p>なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実験取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。</p> <p>また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。</p>
変更点	<p>以下の項目に変更があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>「1.製品及び会社情報」</li><li>「2.危険有害性の要約」</li><li>「3.組成及び成分情報」</li><li>「4.応急措置」</li><li>「5.火災時の措置」</li><li>「6.漏出時の措置」</li><li>「7.取扱い及び保管上の注意」</li><li>「8.暴露防止及び保護措置」</li><li>「10.安定性及び反応性」</li><li>「11.有害性情報」</li><li>「12.環境影響情報」</li><li>「14.輸送上の注意」</li><li>「15.適用法令」</li><li>「16.その他の情報」</li></ul>